

③ サステナブルファッションの推進

<事例紹介 2>

「AOZORA プロジェクト
「サステイナブルへの取組」」

アイトス株式会社

代表取締役 伊藤 崇行

商品部 部長 柴田 剛史

営業部 富田 康喜

アイトス株式会社



社会のために 子供たちのために 未来のために

Since 2023

AOZORAプロジェクト

「サステナブルへの取組」

AITOZ Corporation Aozora Project 2026



アイトス株式会社



創業	大正6年 109年目
設立	昭和25年
資本金	2,500万円
年商	22,200百万円 (25年12月)
代表者	伊藤崇行 (創業時から4代目)

事業内容

ユニフォーム (仕事服) 各種・カジュアルウェアの企画、製造、販売
ワーキングウェア、サービスウェア、オフィスウェア、食品白衣、
クリーンルームウェア、介護ウェア
セーフティスニーカー、食品関連シューズ、JIS安全靴、その他

アイトスの社名の由来は
AからZの間にITO (伊藤)
A ITO Z
最初から最後まで
足の先から頭まで
仕事に関わる
商品とサービスを提案

事業所	大阪本社、東京本社、今治店、札幌店、岐阜営業所
物流拠点	東大阪商品センター、高崎商品センター
国内工場	大阪、高知、徳島、浜松、山形
海外工場	上海、大連、ミャンマー、ラオス



AITOZ Corporation Aozora Project 2026

Mission(為すべき事)

人・企業・社会に価値あるプラスワンを提供する

Vision(あるべき姿)

進化し続ける企業

Value(やるべき事)

<社会貢献>

社会のニーズに適した商品・サービスを提供する

<多様性>

透明でカラフルな企業

- ・国籍、性別、年齢を問わず誰もが活躍できる風通しが良い企業を目指す
- ・多様化する職業に対応した商品やサービスを提供
- ・人・企業・社会に対し誠実に向き合う

<共存共栄>

アイトスに関わる全ての人と一緒に

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

＊AOZORAプロジェクトとサステナブルへの取組

持続可能な社会の実現を目指したSDGsへの取組と同時に

- (1) 生地や服飾副資材・梱包資材などのエコ化
- (2) 回収&再資源化の運用
- (3) GHG排出抑制を目指したCFPの開示
- (4) リサイクルしやすい製品開発・易リサイクル化
- (5) 環境配慮設計ガイドラインに即した活動
- (6) 環境配慮に向けた活動のPRと賛同企業の募集
- (7) 子供たちのための支援活動、イベント開催

再生ペット、植物由来、繊維由来、原着素材など多岐にわたり、
環境に配慮した生地や服飾副資材の採用を推進

カタログ商品のサステナブルマーク(M)に使用されている材料の例



AITOZ Corporation Aozora Project 2026

* 独自にサステナブルマークを設定



区分 1		区分 2
資源・環境に配慮した 	素材 	生地 付属 工場環境 加工
人と現場の安全を守る 	人と現場の安全 	制電対応 強度対応 労働環境
働きやすさの追求 	快適性 	軽量 動き 衣服内気候 その他



素材
マテリアル(M)



安全
セーフティ(S)



快適
コンフォータブル(C)



繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン 第1版抜粋

アイトス株式会社 (URL : <https://www.aitoz.co.jp/contribute/sdgs.php>)

ホームページの製品紹介ページや製品カタログにおいて、自社製品において使用されている素材を紹介。「植物由来ポリエステル繊維使用」等といった情報を掲載している。また、独自にサステナブルランク項目を設定。商品において該当する項目があれば、「素材」、「安全性」、「快適性」といったアイコンを表示している。

(2) 回収 & 再資源化の運用

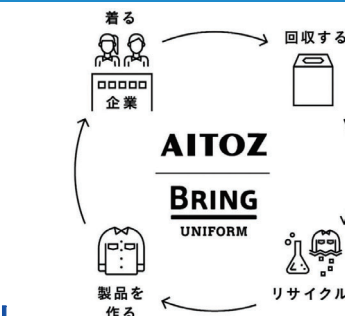
アイトス×ブリング ユニフォーム

BRING™は古くなった衣服を回収し、原料に再生。その素材からもう一度新しい服をつくるサーキュラーエコノミーを実現。

* ポリエステル繊維対象

広域認定制度を活用したサーマルリカバリー

最大2000℃で溶融を行い、スラグ・メタル・工業塩・燃料ガスなどに変換することにより完全な再資源化。特に燃料ガスは敷地内の高効率発電システムに燃料として供され、余剰電力は電力会社へ送電。



AITOZ Corporation Aozora Project 2026

* 回収 & 再資源化の運用 アイトス×ブリング

AITOZ

BRING
UNIFORM

2025年/総重量

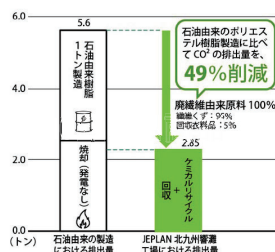
約194t

着数換算

約48万着を回収

衣料品の回収 + ケミカルリサイクルによる PET 樹脂再生

BRING は石油由来のポリエステル生産と比べて



**CO₂ を
49%削減**



ユニフォームの多くには素材としてポリエステル繊維が使用されており、たくさんの石油由来原料が使用されています。

「AITOZ / BRING UNIFORM」を通じて、使用済みユニフォームの回収、様々な方法で地球の資源にリサイクルし、皆様の企業や自治体ユニフォームから始めるサーキュラーエコノミーの実現に向けた活動を推進しています。



*アイトス×ブリングの実施企業様をご紹介

随時更新中です

アイトス アオゾラ 事例紹介

で検索



——実際に、AITOZ/BRING UNIFORM を使用されてからの感想をお願いします

まず、廃棄の手間がほとんどなくなり、非常にスムーズにリサイクルができるようになりました。また、この取り組みを通じて、全社的なSDGsやサステナビリティ教育のきっかけにもなりました。SDGs推進室では、従業員向けに3分程度のサステナ教育動画を配信しているのですが、サーキュラーエコノミーの考え方や、社服リサイクルの取り組みについて記事を作成し、社服を産業廃棄物として廃棄するのではなく「資源として生まれ変わる」ことを紹介しました。毎日身に着けてきたものが再び活かされることを実感するなかで、環境負荷低減の取り組みを“自分のこと”として感じてもらえればと考えております。



AITOZ Corporation Aozora Project 2026

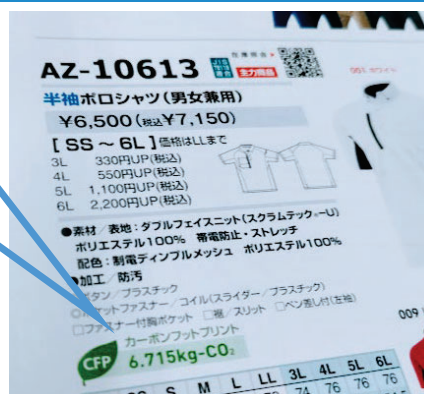
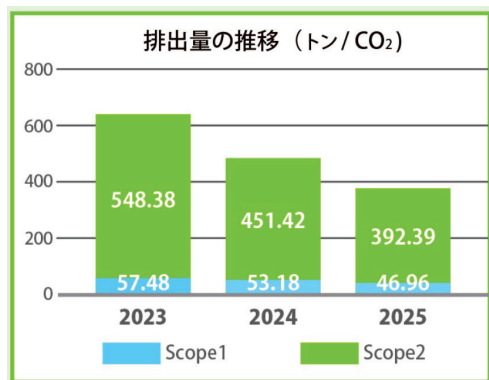


(3) GHG排出抑制を目指したCFPの開示



カタログ表示例

カーボンフットプリント
CFP 12.345kg-CO₂



カタログ掲載、仕事服 全品番

2024年3月经産省にて策定された、
繊維製品の環境配慮設計ガイドライン
に基づき実行
→DPP実装に向けた足がかりにも

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

(4)リサイクルしやすい製品開発・易リサイクル化

PETモノマテリアル設計

PET原料の材料で設計

解重合テストの評価

解体・除去の工程が不要



目指せ、完全循環型リサイクル

特別に開発された
PETリサイクル可能な
ドットボタンを使用

フロントドットボタン仕様

胸のチラ見えを防ぐ間隔
に配置されたドットボタン。



AITOZ Corporation Aozora Project 2026

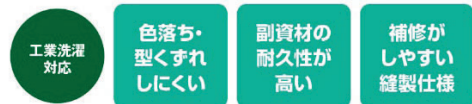
(5)環境配慮設計ガイドラインに即した活動

(24年3月経産省策定)

- ①環境負荷の少ない原材料を使用する
- ②GHG(温室効果ガス)排出抑制、省エネルギーに取り組む
- ③安全性に配慮する
- ④水資源に配慮する
- ⑤廃棄物を抑制する
- ⑥包装材を抑制する
- ⑦繊維くずの発生を抑制する
- ⑧長期使用できる製品を作る
- ⑨リペア・リユースサービスを活用する
- ⑩リサイクルしやすい易リサイクル設計にする
- ⑪再生資源を使用しているか

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

長期使用できる製品



リペア・リユースの活用



ファスナー 後付け仕様

修理の際の付け替えを容易にするための環境配慮設計対応。



展示会ユニフォーム

水削減に努力する工場

〈徳島工場での取り組みによる効果〉

KURABO



※2000年と2022年比較



※2000年と2022年比較



※2022年度

繊維くずの発生抑制

縫製の方法やヒートカッターなどを使用することで繊維くず防止

社長が業界代表で環境配慮型ガイドラインの作成に参加したこともあり積極的に活用しています。

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

* グリーン購入法改定(プレミアム基準2項目)

カーボンフットプリントの算定・開示

製品使用後の回収及び再使用又は再生利用のシステム構築



* その他の活動



弊社のアンバサダーであるラミレスさんが代表を務めるVAMOS TOGETHERの活動を通じ、“スペシャルニーズ”の子どもたち、支えるご家族の支援を考えております。

ただ協賛するのではなく、私たちが子供たちのためにできる事を一緒に行う事が必要と考えます

北陸のポリエステル素材の産地を残すべく、地産地消の商品を企画

展示会等での環境配慮などの啓蒙活動

* アイトスのこの先の取組に関して

弊社のCO2削減目標の策定

環境配慮の認定制度の検討

デジタル製品パスポートの実装へ向け

商品の廃棄の軽減

自治体へ対しての商品回収の啓蒙

環境配慮設定ガイドラインの活用

完全循環型の商品開発と新たな回収システムの開発

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

* 業界でNO.1の「サステナブル企業へ」



毎日着る大切な仕事服のもつ力、仲間の証で、仕事の効率を上げられる、そして、プロの証としての身分をあらわすものそして一番、サステナブルに取り組みやすいアイテムの一つですユニフォームの活用をご検討お願いします。

環境配慮や製品回収に関するお問合せに
 関してはアイトスのホームページより
 お問い合わせください。

感謝

AITOZ Corporation Aozora Project 2026

